

熊もカエルも目を覚まし、草木は芽吹き花は咲く、いよいよ春3月の到来です。
PAOの春の活動企画も出揃いました。
そろそろ外に出てみませんか？
きっと、穏やかな春のにおいを感じられるはずです。

イベント案内

早春のハイキング

～ゆっくりハイキングで春を満喫～

日時 : 3月20日(土) 午前8時30分集合
目的地 : 鶏冠山 [けいかんざん] (滋賀県・琵琶湖南岸/491m)
集合場所 : JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]
(改札を出て左前方の階段を下りた所。喫茶店 CITY の前。)
参加費 : ¥4,000-
持ち物 : 弁当、水筒、雨具
連絡先 : 栗原隆一
その他 : 雨天中止。歩行時間は約5時間。帰りは温泉に立ち寄る予定です。

お花見散歩とデイキャンプ

～桜咲く溪谷の道を歩き、摂津峡でお花見～

日時 : 4月10日(土) 午前9時30分集合
目的地 : 摂津峡 (大阪府)
集合場所 : JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]
(改札を出て左前方の階段を下りた所。喫茶店 CITY の前。)
参加費 : ¥4,000-
連絡先 : 栗原隆一
参加希望の方は3月30日までにご連絡ください。
その他 : 雨天中止。

四万十川カヌー&キャンプツアー

ゴールデンウィークの「四万十川カヌー&キャンプツアー」開催決定！
最後の清流と言われる四国の四万十川で、カヌーツーリングにのんびりキャンプ。
カヌーするもよし、川で遊ぶも、釣りをするもよし。それともなーんにもせずに、
ただただ、ボーっとしてみるのも、昼寝をするのもよし。
仕事の事はすっかり忘れて、久しぶりにゆっくりとしてみませんか？

日程は4月30日夜出発～5月3日の予定です。

参加費は¥23,000～28,000-

アウトドアを楽しむには絶好の場所です。みなさまお忙しいとは思いますが、是非ともご参加ください。キャンプの、カヌーの楽しさがわかると思います。

4月30日の集合は20時ごろで考えております。参加できそうな方は、何時ごろに集合可能か、ということもあわせて3月16日までにご連絡ください。

予約等の関係もありますので、お早めをお願いします。

イベント報告

(NO. 29)

カニかにツアー

京都府・久美浜温泉 2月27日(土)～28日(日)

食べきれないほどのカニ料理で満腹ツアーとなりました。

晴れた大阪を出発したものの、中国道・舞鶴道と北上するうちに天候は、晴れたり曇ったり、雨が降ってきたりとめまぐるしく変わっていく。

福知山で高速を降り、目指すは出石（いずし）での昼食だ。

山の中へと道を進むにつれ、雪もちらつきはじめ、辺りは雪景色へと変わっていく。

ようやくついた出石。ここではもちろん出石名物の皿そばでの遅い昼食である。

生卵と、とろろを加えたつゆに付けて食べるあっさりとした皿そばを、あっという間に10皿食べてしまった。

いかん…。腹がふくれてしまった。カニが食べられるかな…といいつつも、最後には蕎麦湯を入れてつゆも全部飲んでしまった。満腹である。

久美浜にたどり着くころには、激しく雪が降り始めた。

早速民宿にはいると、部屋ではゆでガニが迎えてくれる。

さっきそばを食ったばかりだがカニを見ると、これはこれでまた食べられそうである。

夕食前の熱い風呂で冷え切った身体が芯から温まる。

さっぱりしたところでいよいよスタート。まずはカニ刺しから。一気に食いつくと、口の中でカニの甘さがほんのりとひろがる。…う～ん生きててよかった。

僕たちを迎えてくれたゆでガニを食べながらも、カニすきの準備に掛かる。そこへ、さらに、香ばしい香りをふりまきながら運ばれてきたのは、焼きガニだ。どれから食べようかと迷うような贅沢な状態である。

あったかい焼きガニにかぶりつけば、カニのうまみがじんわりと感じられる。少しこげたところがこれがまたいい。ゆでガニ、カニすきを合間に食べつつ、今度は甲羅焼きがやってきた。中にはカニ味噌がたっぷりだ。まさしく酒を飲むひまもない。

満腹となってしまったが、やはり最後は雑炊でしめる。

これから酒でも、と思っていたが、布団が敷かれてしまうと、いつのまにか眠りに落ちていた。

翌日は、天橋立に立ち寄る。雪が降る寒い中、てんころ舟競争と言うのをやっていた。ふんどしいちょうでこいでいる姿を見るとこちらまで縮み上がってしまう。それよりも、周りの山々が雪を頂いた景色がすばらしい。

ここで昼食をとって、一路大阪へと向かったのです。

(栗原隆一 記)

(NO. 30)

第3回スキーツアー

岐阜県・ダイナランド 3月6日(土)

行き先をスキージャム勝山からダイナランドへと変更しての第3回スキーツアーとなりました。

深夜出発の到着は午前4時。渋滞もなく、道路には雪もなくスイスイと着いてしまった。リフトは3時から動いているようであったが、とりあえずは仮眠をとる。

8時よりスタート。雲ひとつない空が広がり、天気は最高である。スケールも結構大きく、コースも多彩だ。それに何より、そんなに混んでいないのがいい。

リフトから見る景色と言うのもいいものだ。真っ白にひろがる山ではあるが、よく見ると、雪の中に立つ木々の枝の先端は、今にも芽を出しそうにふくらんだつぼみとなっている。下をのぞけば、とけだした雪が小さな流れを作り出していた。ここでも着々と春への準備が進んでいるようだ。

さらに上がっていけば、山の白と、青と言うよりも、もっと深い群青色とでも言うような空が大きくクッキリと目の前に映し出される。リフトを降りて、ふりかえり見る山々は

雪を被って連なっている。この眺望だけでも一見の価値ありだ。

3時頃までどっぷりと滑った後の締めくくりはもちろん温泉。

ビールを飲みながら、心地よい温度の露天風呂にはいると、出るに出られずすっかりふやけてしまった。あーっ、ゴクラクだあ…。

(栗原隆一 記)

PAO会長・栗原隆一の海外放浪記

II ネパール編

ネパールを旅したときのことを書こうと思う。

今から思えばもう8年も前の事になるだろうか？

しかし、そこでの強烈な印象は今でもハッキリと覚えている。

1 ネパール≠ヒマラヤ

学生時代最後の旅となった。

今となっては、学生時代の思い出と言え、旅をしてきた事ぐらいしか思い出せない。なぜ、ネパールにしたのか？よくはわからないが、何かひきつけられるものを感じていたのは確かだ。

「行こう」と思うまでの、その国に対する知識なんて知れているものである。

ネパールと言えばヒマラヤ山脈の裾野にひろがる山岳地帯と言うのが、すぐに思い浮かぶ。確かにそうなのだが、ガイドブックを見てみると、インドとの国境を接する辺りには、ジャングルが広がる場所もあるらしい。それに、そこには一サイや虎など各種の動物が歩き回り、…川にはワニが泳ぐ…—と言うようなことが書いてある。

なんという事だ、ネパールにジャングル。それに、そこにはサイに虎にワニだと…。これは、行かねばなるまい。この時、僕の決心は固まった。

ヒマラヤを見る事よりも、むしろこっちのほうに興味をわいてきたのだった。

(次号につづく)

原稿大募集！

PAO通信では、みなさまの原稿を大募集しております。PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また情報や体験談、イラスト・写真もOK。ドシドシお寄せください。お待ちしております。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一
Eメールでも受付中！アドレスは:info@odcpao.com